

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

令和 6 年度
学校推薦型選抜 小論文試験問題
〔 100 点 〕
〔 60 分 〕

千葉県立保健医療大学 健康科学部

注意事項

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開いてはいけな
い。
2. 問題冊子は、表紙を除き 5 頁である。
3. 問題冊子及び解答用紙の印刷が不鮮明などの場合には、手を挙
げて監督員に知らせること。
4. 解答は、必ず黒の鉛筆（シャープペンシルも可）で解答用紙に
記入すること。
5. 試験終了後、問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。
6. 不正行為に対しては厳正に対処する。

問題 次頁からの図および課題文をもとに以下の問に答えなさい。

問 1 図 1 は、防災・減災のための行動として、大地震に備えた「自助」^{※1}の取組に係る選択率の推移を示したものである。この図から読み取れる「自助の取組に係る推移の特徴」を 3 つ、具体的な数値と共に簡潔に説明しなさい。

問 2 不適切問題

問 2 は受験者全員が正答したものととして取り扱いました。

問 3 図 3 は、自然災害が起こったときに、減災のために自助・共助^{※2}・公助^{※3}のうちどれに重点をおくべきと考えるかの回答結果を性・年代別に示したものである。この図から読み取れる性・年代別の特徴を他の性・年代と比較して 3 つ簡潔に説明しなさい。

問 4 課題文は令和 4 年版防災白書（内閣府）から抜粋したものである。問 1 から問 3 と課題文をふまえて、住民の自助・共助を主体とする防災・減災の実現への課題と必要な取り組みについて、あなたの考えを 4 5 0 字以上 5 0 0 字以内で述べなさい。ただし、原稿用紙の使い方に従うこと。

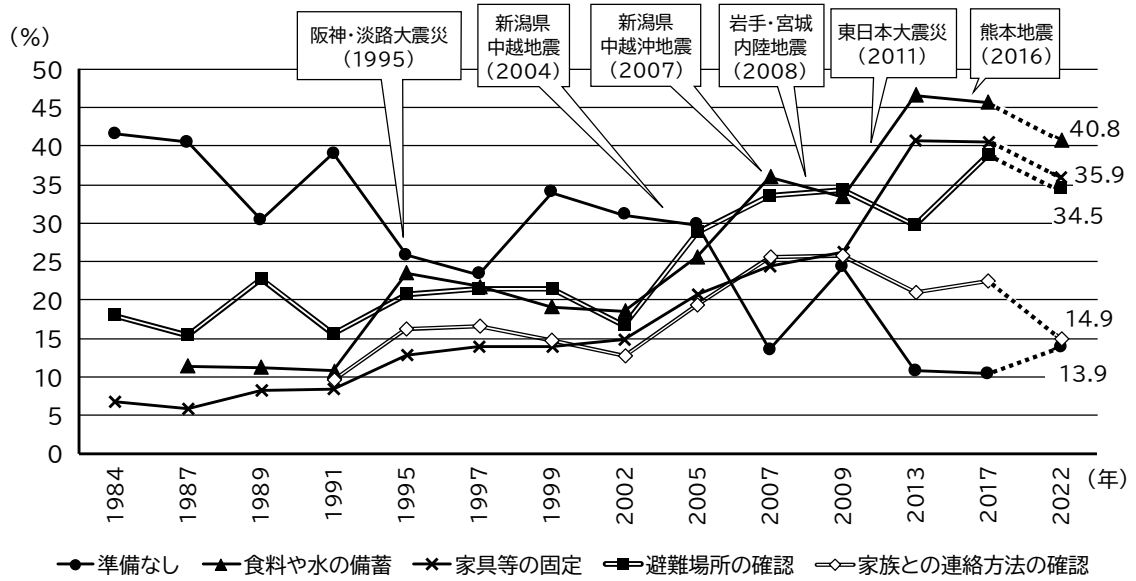
(注) ※ 1 ・「自助」：自分の身は自分で守ること。この中には家族も含まれる。

(注) ※ 2 ・「共助」：地域や身近にいる人どうしが助け合うこと

(注) ※ 3 ・「公助」：国や地方公共団体が行う救助・援助・支援

出典：内閣府「防災に関する世論調査」（令和 4 年 9 月調査）」（一部改変）

図1. 大地震に備えた自助の取組に係る選択率の推移

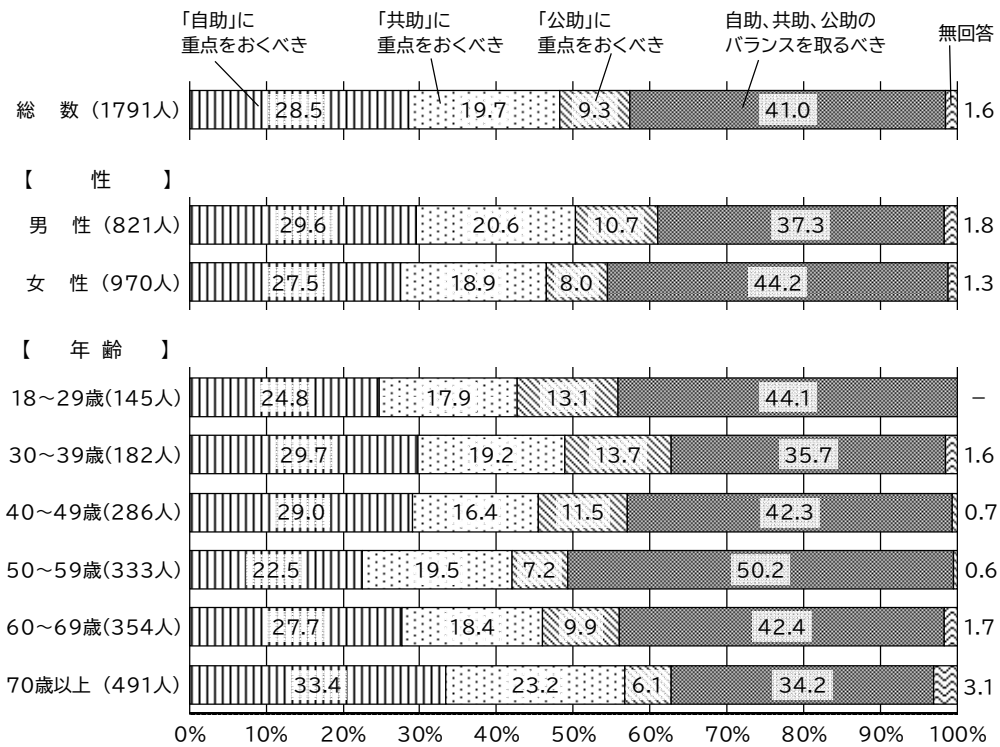


※2022年調査は、2017年調査までの個別面接調査法と異なり郵送法で実施しているため、従前調査との単純比較は行わない。

出典：内閣府 令和5年版 防災白書 「防災に関する世論調査」(一部改変)

図2：不適切問題

図3. 自助、共助、公助のうち、重点をおくべき対応



出典：内閣府「防災に関する世論調査」（令和4年9月調査）（一部改変）

課題文

行政が「公助」の充実に不断の努力を続けていくことは今後も変わらないが、地球温暖化に伴う気象災害の激甚化・頻発化、高齢社会における支援を要する高齢者の増加等により、突発的に発生する激甚な災害に対して既存の防災施設等のハード対策や行政主導のソフト対策のみで災害を防ぎきることはますます困難になっている。行政を主とした取組だけではなく、国民全体の共通理解の下、住民の「自助」「共助」を主体とする防災政策に転換していくことが必要である。現在、地域における防災力には差がみられるところであるが、防災意識の高い「地域コミュニティ」の取組を全国に展開し、効果的な災害対応ができる社会を構築していくことが求められている。

出典：内閣府 令和4年版 防災白書（抜粋）